

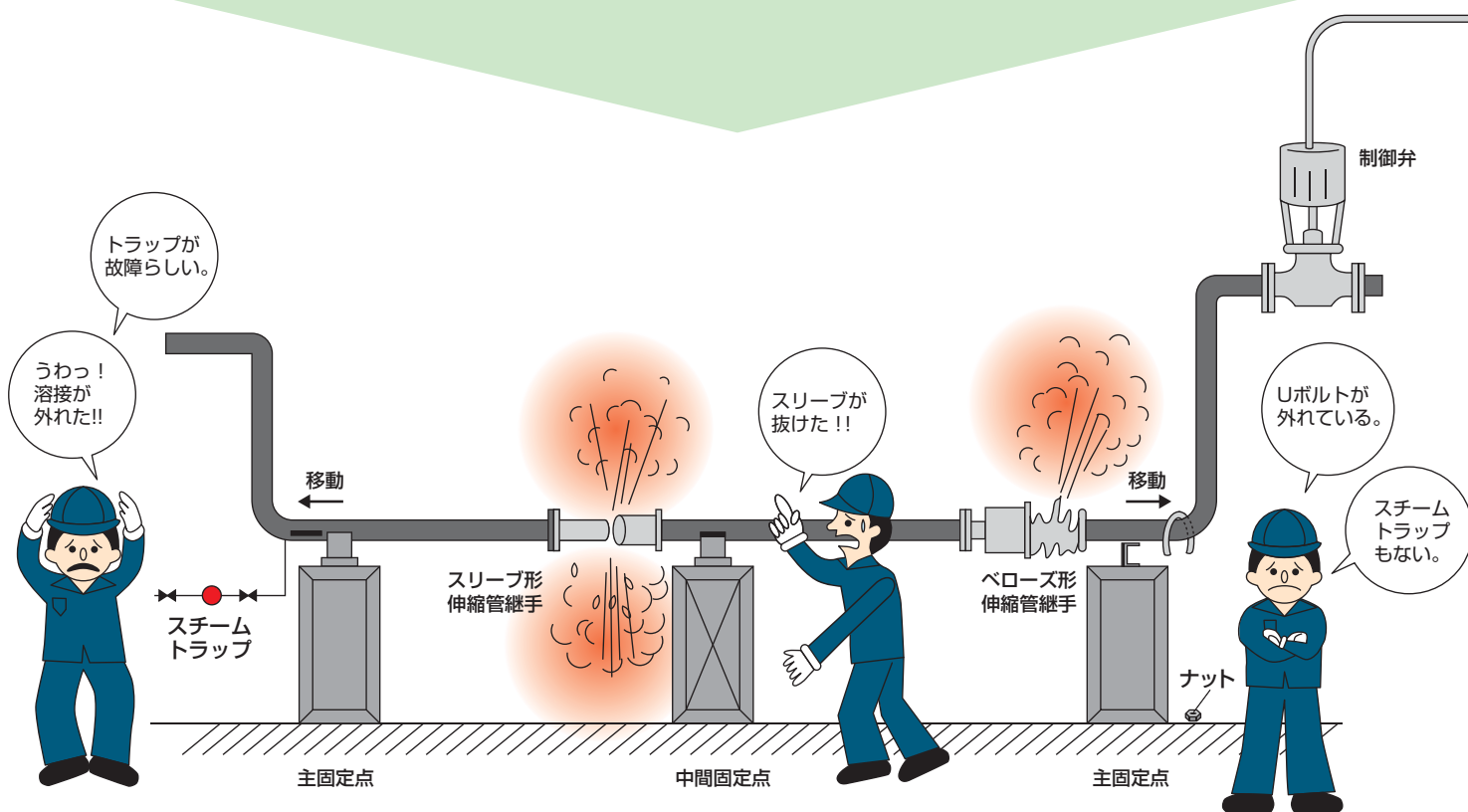
トラブル例2

伸縮管継手の破損

図のような配管で伸縮管継手を設置していて、配管の途中にスチームトラップがなかったり、スチームトラップの故障あるいはトラップ用ストレーナが目詰まりしている場合、小負荷では配管の低部に多量のドレンが滞留し、低温域が生じます。

この状態で、急に大負荷が生じると、蒸気で滞留ドレンが押されるとともに、低温ドレンに蒸気が接触して、激しいスチームハンマが発生することがあります。

そのスチームハンマの衝撃力は予想がつかず、特に固定点の強度が弱いと固定点が破損又は移動して、場合によっては伸縮管継手をも壊すことがあります。



警告 十分な強度の固定点を絶対移動しないように設けてください。
また配管にドレンが滞留しないようにしてください。
守らないとスチームハンマが発生し、固定点が壊れるとともに伸縮管継手が破損することがあります。



- 対策**
1. 伸縮管継手の固定点に作用する力に対し、十分な安全率を考慮した固定にする。
 2. 固定点の溶接は確実に行なう。またUボルト、Uバンドはナットが外れないようにして、更にUボルト、Uバンドは配管にしっかり溶接する。
 3. スチームトラップを必要数設置して定期的に点検する。